

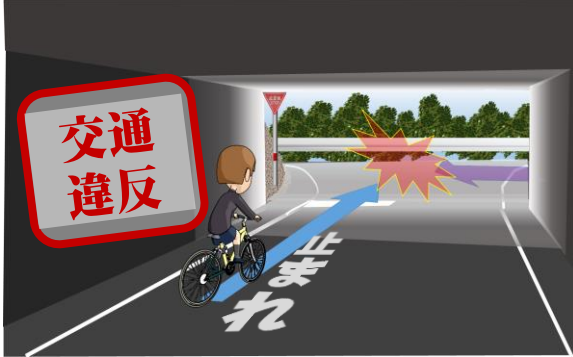
自転車の交通違反・事故事例

指定場所一時不停止

一時停止標識等を無視して交差点に進入したり、交差道路を通行する車両等の進行を妨害する行為



「**止まれ**」の場所を**一時停止せず**進み出会い頭に衝突



【事例1】

見通しの悪い一時停止場所を止まることなく進行して、右から進行してきた自動車と衝突

		発生件数	構成率(%)
車 両 対 自 転 車	自転車対歩行者	15	3.1
	正面衝突	9	1.8
	追突	6	1.2
	出会い頭	228	46.8
	追越追抜時	6	1.2
	すれ違い時	12	2.5
	左折時	68	14.0
	右折時	81	16.6
	その他	55	11.3
単 独	転倒	2	0.4
	その他	5	1.0
合計		487	100

※令和3年中

県内における自転車事故の**46.8%**が**出会い頭**です。

一時停止した上での安全確認の徹底を！

※ 令和3年中



歩道での歩行者妨害等

歩道の車道寄りの部分を徐行しなかったり、歩行者の通行を妨害するような場合に一時停止しないなどの行為



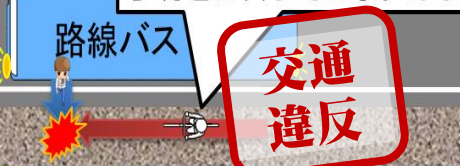
歩行者の通行を妨害するような場合に**一時停止せず**に歩行者と衝突

路線バスから歩行者が降車することを想定して気をつけて通行しましょう。また、自転車は車道通行が原則です。

路線バスが止まっているけど、歩行者は降りてこないだろう。

【事例2】

自転車歩道通行可の歩道を通行中、路線バスから降車してきた歩行者と衝突



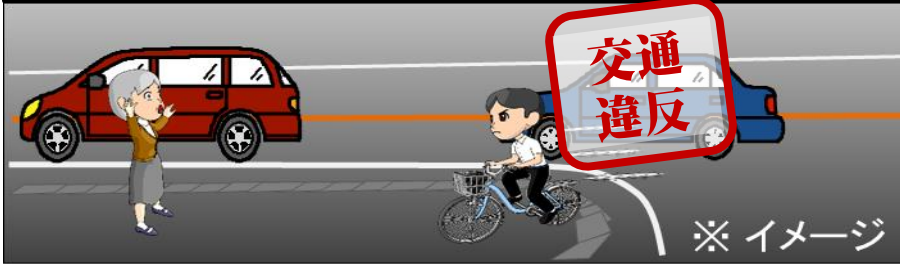
※イラストはイメージです。

歩道通行や車道の右側通行等

歩道又は路側帯と車道の区別がある道路で、自転車が行きできない歩道での歩道通行、車道での右側通行、道路右側の路側帯を通行する行為



自転車が通行できない歩道上で歩行者と衝突



【事例1】

自転車で走行することができない歩道を走行し、正面から歩いてきた歩行者と衝突

右側通行(逆走)して自転車と正面衝突



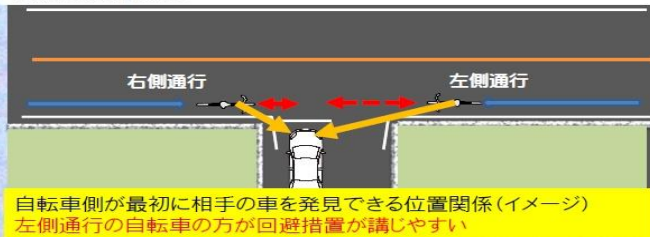
【事例2】

歩道を通行中、正面から接近する歩行者を避けるため車道に出て右側通行した際に、車道を左側通行していた自転車と正面衝突

右側通行の危険性①

出会い頭の交通事故の危険性が高まる

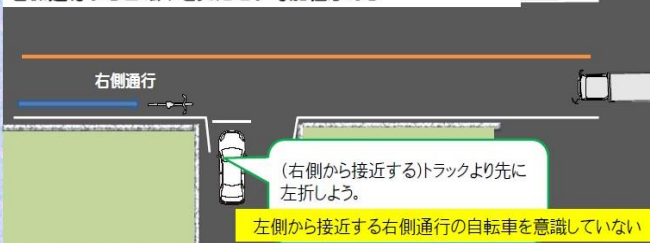
右側通行は、左側通行時と比較して、相手車の発見から回避(ブレーキ)まで時間的・距離的に余裕がなく、発見した直後に衝突する可能性もあります。



右側通行の危険性②

出会い頭の交通事故の危険性が高まる

自動車側のドライバーの心理として、右側から接近する車を強く意識する傾向にある(特に左折の際) そのため、左側に対する安全確認が不十分なドライバーが右側通行する自転車を見落とす可能性がある



右側通行の危険性

右側通行の危険性③

正面衝突の可能性が高くなる

相対して進行するため、短時間で接近し、回避行動が講じにくく、正面衝突の可能性が高い。(特に自転車側から見て右カーブの場合は、正面衝突の危険性が高くなる)

